



2025年3月14日

各位

会社名 売れるネット広告社グループ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長CEO 加藤公一  
 (コード番号: 9235 東証グロース)  
 問合せ先 取締役 CFO 植木原宗平  
 (TEL 092-834-5520)

2025年7月期『通期業績予想の修正』及び『特別損失』の計上に関するお知らせ

当社は、2025年3月14日開催の取締役会において、以下のとおり、通期業績予想の修正及び特別損失を計上する見込みとなりました。これに伴い、2024年9月13日付「2025年7月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました、2025年7月期(2024年8月1日～2025年7月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

1. 2025年7月期の通期連結業績予想数値の修正について(2024年8月1日～2025年7月31日)

●前回発表予想比較

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益又は 当期純損失
前回発表予想(A)	1,635	3	7	4	1円38銭
今回修正予想(B)	1,650	▲130	▲130	▲394	▲54円15銭
増減額(B-A)	+15	▲133	▲137	▲398	—
増減率(%)	+0.9	—	—	—	—

●前期実績比較

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益又は 当期純損失
前期実績(A)	756	▲308	▲315	▲326	▲94円70銭
今回修正予想(B)	1,650	▲130	▲130	▲394	▲54円15銭
増減額(B-A)	+894	+178	+185	▲68	—
増減率(%)	+118.2	—	—	—	—

## 2. 業績予想の修正の理由

売上高については大きく伸長し、**1,650百万円(前期実績比218%)**の見通しとなっております。2025年7月期の通期売上高の大幅増加要因としまして、2024年8月に株式取得いたしました株式会社JCNTが実施する「グローバル情報通信事業」において、海外における国際的なイベント等があり、前回発表時の想定より堅調に推移をしたことが要因でございます。2025年7月期下期につきましては、上期からの継続取引に加えて、「D2C(ネット通販)事業」において、下期に新規クライアントとの広告施策開始やM&A仲介事業による案件完了、グローバル情報通信事業において、2025年4月以降に行われる国内大規模イベントへのサービス提供等を見込んでおります。

また、営業利益につきましては、売上総利益率の高い「D2C(ネット通販)向けデジタルマーケティング支援事業」の売上高が軟調であり、D2C(ネット通販)向けデジタルマーケティング支援事業と比較すると売上総利益率が低いD2C(ネット通販)事業やグローバル情報通信事業の収益獲得が順調に推移したものの、D2C(ネット通販)向けデジタルマーケティング支援事業の未達分を補填するまでには至らず、今回の修正予想では**▲130百万円**を見込んでおります。

なお、経常利益もそれに伴い減少する見込みであり、後述のとおり、オルクス株式会社における減損損失を特別損益に計上いたします。

以上の結果、各指標に関し、前回予想を修正することといたします。

## 3. 四半期ごとの比較・見通しについて

### ● 売上高比較

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
前回発表予想(A)	361	408	419	447
今回修正予想(B)	451	355	370	475
増減額(B-A)	+90	▲53	▲49	+28

### ● 当期純利益比較

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
前回発表予想(A)	▲40	4	11	29
今回修正予想(B)	▲28	▲366	▲40	40
増減額(B-A)	+12	▲370	▲51	+11

2025年7月期第1四半期については、株式会社JCNTにおける国内外の大型イベント等があり売上・利益ともに堅調に推移したものの、2025年7月期第2四半期については、2025年7月期第2四半期までに開始予定であった「D2C(ネット通販)向けデジタルマーケティング支援事業」における新規取引先の広告施策の開始等が下期以降にずれ込んだこと及びM&A案件について2025年7月期第2四半期に想定していた成約がなかったこと、またオルクス株式会社ののれんの減損損失を計上したことにより、2024年11月～2025年1月は単月において赤字となり、2025年7月期第2四半期合計で当期純損失は**▲394百万円**となっております。

なお、今後の見通しとしては、2025年7月期第3四半期につきましては、前回発表時に想定していたM&A案件に関する収益獲得が2025年7月期第4四半期以降にスケジュールが遅延していること、及び本来2025年7月期第2四半期に開始する想定であった新規取引先の広告施策の実施が下期にずれ込んだことにより、広告予算の増額スケジュールが前回予想より遅延していることなどから、売上・利益ともに前回予想を下回っております。

一方、2025年7月期第4四半期につきましては、直近の受注が好調に推移しているAI関連サービスの収

益獲得や越境 EC 事業における TikTok ライブコマース施策の開始が予定されており、「グローバル情報通信事業」において国内大規模イベントや修学旅行等の受注が前回発表時より上振れに推移していること等から、前回予想を売上・利益ともに上回る想定でございます。

#### 4. 特別損失の計上について

当社は、「D2C(ネット通販)向けデジタルマーケティング支援事業」の強化を目的として、2024年2月にオルクス株式会社の発行済株式を100%取得しております。

オルクス株式会社については、2025年1月に株式会社グルプス(運用型広告会社)と株式会社オルリンクス製薬(D2C(ネット通販)会社)の2社による吸収合併及び商号変更により誕生した会社でございます。

吸収合併以前の2社については、2024年2月に株式会社グルプスを取得価額319,999,999円及び株式会社オルリンクス製薬を取得価額1円で取得し連結子会社化いたしました。

株式取得当初は、「D2C(ネット通販)向けデジタルマーケティング支援事業」の強化を目的とし、株式会社グルプスの運用型広告事業を中心とした事業展開を想定しておりましたが、株式取得後、株式会社オルリンクス製薬が実施する「D2C(ネット通販)事業」において「Kogao+」の販売数が累計販売枚数「80万枚」を突破するなど各種商品の販売数が順調に増加し、事業成長が進みました。

そのため、株式会社グルプスと株式会社オルリンクス製薬による吸収合併後のオルクス株式会社においては経営資源をD2C(ネット通販)事業に集中し、海外展開も含め、D2C(ネット通販)事業のさらなる拡大を進めることといたしました。

また、運用型広告事業については、売れるネット広告社株式会社にて広告運用ノウハウを引継ぎ、売れるネット広告社株式会社のクライアントに対して引き続きサービス提供を実施することとしております。

以上により、オルクス株式会社における直近の実績・市場環境の変化を鑑み、今後の事業活動方針を変更したため、オルクス株式会社(旧株式会社グルプス)に係るのれんを含む固定資産256,464千円を減損損失として、特別損失に計上いたします。

なお、一括でのれんを減損したことで2025年2月以降につきましては、2,330千円/月、27,970千円/年の償却費負担が軽減されることとなります。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、現在実際の業績は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上